



うおづ 社協だより

Vol.169
2020 **10**

特集

**寄り添えなくても
寄り添うヒント**



【もくじ】 令和元年度事業報告・決算報告…………… P4
 あかいはね女子紹介…………… P5
 教えて!うおっしゃくん〜シリーズ認知症〜… P6



社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
 〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
 ☎(0765)22-8388・FAX(0765)22-8390
 E-mail:info@uoshakyo.net(代表)



寄り添えなくても寄り添うヒント



Withコロナ「自分のために、みんなのために。」

新型コロナウイルス感染症によって、当たり前だったわたしたちの「ふだんの暮らし」が変わり、以前と同じように寄り添うことが難しくなりました。

こんな状況であってもつながりが途切れないように、お互いの暮らしを気に掛け合いながら寄り添うために、様々な工夫を凝らした福祉活動が市内で行われています。

今回は、そんなWithコロナ時代の地域福祉活動を紹介します。

新たな活動で寄り添う



魚津あったか食堂

以前は、旧福祉センター百楽荘で月1回開催し、毎月たくさんの利用者がおいしい食事や温かい交流を楽しんでいました。3月からはコロナの影響で食堂の開催が難しくなり、児童センターでのカレーの提供に切り替えました。夏休み中お弁当を持参して学童保育を利用している子どもたち。児童センターに届けられた温かいカレーに大喜びで、元気な笑顔がいっぱいこぼれました。



カレー大好き！
おいしいそう♪

手紙で寄り添う

さんさん 介護予防倶楽部



市内のショッピングセンターで4月から開所予定でしたが、開催延期が続いています。(9月1日現在)

介護予防倶楽部のスタッフは参加予定だった方々に、季節の折り紙や、脳トレクイズを入れたお便りを定期的に使っています。お便りが届いた方は、折り紙を玄関先に飾ったり、脳トレを家族に教えてもらいながら一生懸命に取り組んでおられるようです。中には取り組んだ脳トレを採点してしてもらおうと、市社協にもって来られる方もいました。



いろんな
お便りが入って
いるよ！

電話で寄り添う



福祉推進員の 見守り活動

対面で会うことは難しくても、声が聞けただけでほっとするのが電話。

民生委員や福祉推進員の方は、気にかかる人に電話での「お元気確認」をされています。

いつでも
寄り添う



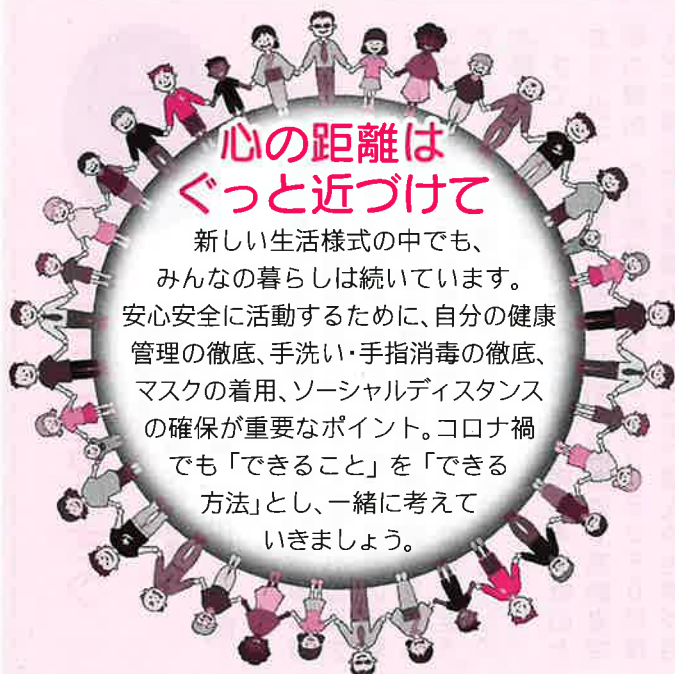
魚津市社会福祉協議会

魚津市社協では、「どんな相談でもまずは受け止める」を大切に、さまざまな相談事業を行っています。新型コロナの影響をうけて減収などによる生活困窮状態や孤立、子どもたちの心身への影響など様々な悩みを相談者と一緒に課題の整理をして、課題解決するための手法(制度や支援機関)を考えます。

また、学校休校中、経済的・社会的困窮により日常生活が失われたひとり親家庭から食料支援の要請が増加しました。魚津市社協では市民の皆さんから寄附された食料による食料支援(フードネーション事業)を行いました。支援を行った家庭からは、届けられたお米や乾麺、お菓子などをみてほっとしたという声が聞かれました。



「寄り添いたい」と届けられた食料品(一部)



心の距離は ぐっと近づけて

新しい生活様式の中でも、みんなの暮らしは続いています。安心安全に活動するために、自分の健康管理の徹底、手洗い・手指消毒の徹底、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保が重要なポイント。コロナ禍でも「できること」を「できる方法」とし、一緒に考えていきましょう。

距離を
しっかり確保して
寄り添う



ふれあいいきいきサロン

感染症対策として「密閉」「密集」「密接」の3密を避けることが求められています。新しい生活様式の中での楽しいサロン活動ができるように、社協職員がサロンへ出向き、新しい生活様式の中での活動実施方法を一緒に考えました。

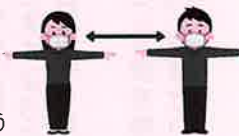
～感染拡大を防ぐための サロン活動のポイント～

- ♣自分自身の健康管理にも十分配慮するようにしましょう
- ♣参加者の体温や体調の確認を行い、参加者名簿を作成し、記録するようにしましょう
- ♣参加者には、「毎日体温を計測をする」「症状がなくてもマスクを着用する」「水と石けんで丁寧な手洗いをする」ように呼びかけましょう
- ♣参加しなくなった方の把握や参加の呼びかけを行うことも大切です



開催中は…

- ♣複数の人が触れる場所は、適宜消毒を行いましょう
1時間に2回以上の換気を行いましょう
- ♣参加者同士の間隔は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空けるようにしましょう
- ♣会話をする際は、正面に立たないように、注意を促しましょう
- ♣文字(紙)や、マイクなどを活用するなど、大きな声を出す機会を少なくするように工夫しましょう



できるだけ2m
(最低1m)

令和元年度

魚津市社会福祉協議会 事業報告・収支決算

事業報告 主な事業

地域づくりの推進

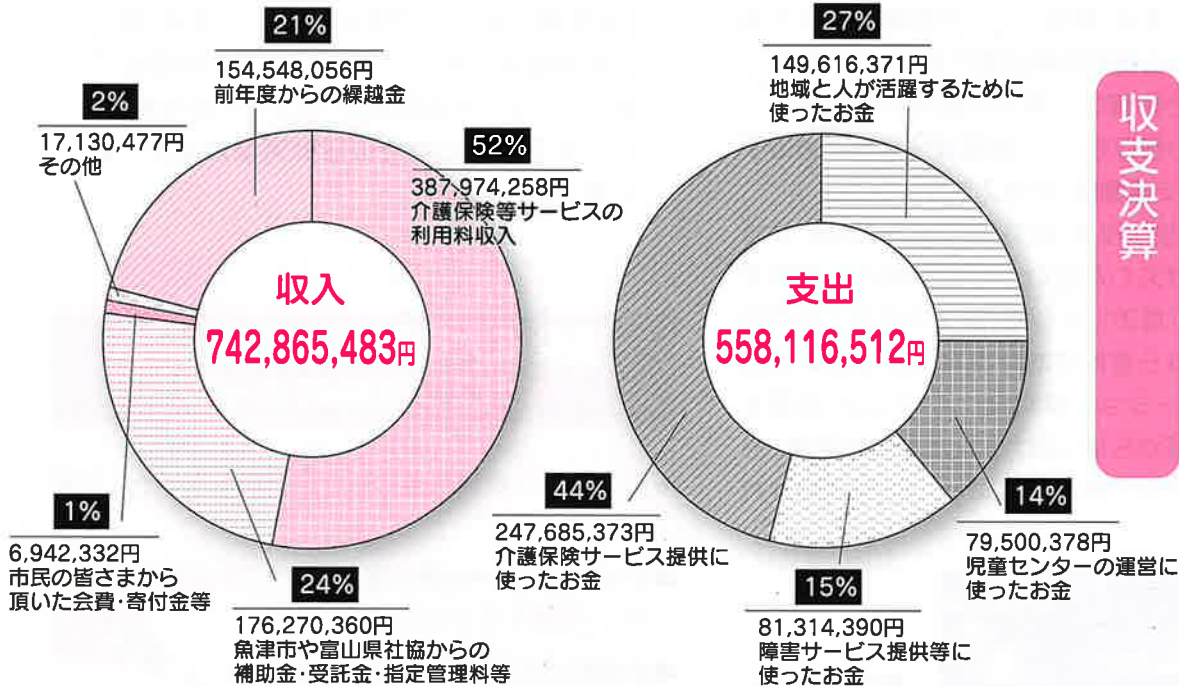
見守り活動等ケアネット活動の推進、ふれあいいきいきサロンの充実など地区社会福祉協議会と協働による地域活動を推進しました。また、地域課題解決のため、社会福祉法人が連携して取り組んでいく体制づくりに努めました。

経営体制の強化

職員が法人全体の経営状況を把握することを目的に経営改善研修会を開催しました。あわせて、経営改善計画(うおっしゅプラン)を募集し経営改善に向けた取り組みを強化しました。



収支決算



令和2年度への繰越 収入-支出=184,748,971

※令和元年度事業報告と収支決算の詳細は本会ホームページをご覧ください。



就任のごあいさつ

社会福祉法人
魚津市社会福祉協議会

会長 奥田 正明

この度、前会長が任期途中で退任され、理事の皆さまのご推挙とご賛同を賜り、新しく会長の重責を担うことになりました。微力ですが、今までの経験を踏まえ、これからの当協議会の円滑な経営を通して地域福祉の充実と発展に向けて、その職責を全うするべく努めて参る所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今日、当会の本年度事業計画基本指針のとおり、少子・高齢化の進行、認知症高齢者や高齢者世帯の増加、社会的孤立や引きこもり、8050世帯などの複合的な課題の顕在化など、個人や世帯が抱える課題が複雑化・多様化しています。

このような中、当会では、今年度も「みんなが安心して、暮らし続けることができる、地域づくりのために」地域共生社会の構築を目指して「」を基本理念に、住民・行政・関係団体と連携・協働し、さらなる地域福祉の充実に向けているところです。

また、コロナ禍で地域福祉転機の今、ウィズコロナに対応した新しい地域福祉推進に務めて参ります。

当会が、魚津市における地域福祉を推進する中核的な民間団体として、市民の皆様方のお力添えを戴きながら、その使命を十分発揮できますように、役員一丸となり精一杯の努力を重ねて参りたいと存じます。

市民の皆様方のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、会長就任のご挨拶といたします。

町に愛を 胸に羽根を



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。魚津のまちをよくする仕組みである共同募金を活用して、地域を元気にする「あかいはね女子」をご紹介します。



どんどこ隊
代表 廣世・節子さん・美帆子さん

魚津のみなさんへのメッセージ

「音楽会に参加した人が、この前声をかけてくれたよ。」ととてもうれしそうに報告してくれました。障がいのある人たちの暮らしが、地域の中に少しずつ溶け込んでいることがとてもうれしく思います。赤い羽根共同募金はみんながしあわせになれる活動です。みなさまご協力お願いします。

共同募金の助成をうけて
どんな活動をしていますか？

どんどこ隊は障がいのある人たちが音楽を通じて余暇を楽しむサークルです。5年前から共同募金の助成を受けて、「ブルーベリー音楽会」を開催しています。地元のブルーベリー農園で自然の風、甘い香り、そして地域の人たち、障がいのある人たちが一緒に音楽を感じる時間は、みんなの心をととてもあったかくしてくれます。



共同募金の助成をうけて
どんな活動をしていますか？

加積地区社会福祉協議会は、「0歳から100歳まで住んで楽しいりんごの郷加積」をスローガンとし、様々な事業に取り組んでいます。中でも、共同募金の助成を受けて実施している「子育てサロンあつぷる」は、子どもから高齢者までのつながりを作るきっかけづくりとして年4回開催しています。



加積地区社会福祉協議会
会長 高島 優子さん

魚津のみなさんへのメッセージ

子育てママたちの地域活動デビューの場として参加者のみなさんに喜んでいただいています。また、運営スタッフとしてかかわっている方も、かわいい子どもたちと一緒に過ごせて元気になれると好評です。「つながりをつくるはじめての一步」に、赤い羽根共同募金は欠かせない存在です。



**「お財布をとった」と疑いの目を向ける
不可解な行動にはその時々理由があります**

ものをとられたという妄想はとともよくみられます。記憶障がい原因ですが、置き場所を忘れたと認めたくない気持ちや不安感から、被害妄想を生み出しがちになります。



うおっしゃくんからのアドバイス!



身近な人が疑われ、傷つくこともあるよね。病気によるものなので真に受けず、冷静な対応が必要だよ。

否定すると反発したり妄想が膨らみやすいので、「困りましたね」とまずは相手の気持ちに寄り添って。疑われている人が探し物を見つけると「盗んだ」妄想が確信になるため、見つけやすいところに置き、一緒に探すふりをして本人に見つけさせるといいよ。

情報提供:
東部デイサービスセンター
☎22-7772

わかっているけど…しんどい時がある。そんな介護者の方の声をよく聞きます。東部デイサービスセンターは認知症対応型通所介護事業を実施していますので、いつでもお気軽にご相談ください。

お願い伝言板 白タオル求めます!

わかくさランチでは障がいのある人たちが作ったお弁当を販売しています。コロナ禍で衛生面に特に気を付けて作っていますが、ふきん用の白タオルが不足しています。ご自宅で不要となっているものがあれば、ぜひ、ご協力ください。



問い合わせ先:わかくさランチ(奥村さん)☎22-1669

**受賞おめでとう
ございます**

(敬称略)

魚津市社会福祉協議会会長表彰

- 本元 義明 (社会福祉団体役員/魚津市社協)
- 葉勢森正之 (社会福祉関係団体役員/道下)
- 佐藤 宏美 (施設職員)
- 長谷川 守 (福祉推進委員/経田)
- 住吉 英男 (社会福祉事業協力者)
- 白井小五郎 (個人ボランティア)
- うおづ囲炉裏の会 (団体ボランティア)

感謝状贈呈

- (故)女川 憲夫
- (故)栗山 たか
- (故)笠木 清孝
- (故)高縁 勉
- (故)北陸労働金庫 魚津地域推進委員会
- (故)谷林 正昭
- (故)上野 東
- (故)田中末八郎



皆様のご活躍を期待しております

プレゼントクイズ

ヒント
5ページを
見てね。

毎年10月1日からはじまる活動で、魚津のまちをよくするために取り組まれる活動は何というのでしょうか?(漢字2文字です!)

赤い羽根〇〇募金

ハガキ、メールまたはFAXに下記の事項を記載のうえ、魚津市社会福祉協議会までお送りください。

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号
- ⑥クイズの答え ⑦「社協だより」の感想、ご意見

応募締切 令和2年10月31日消印有効
応募先 〒937-0801 魚津市新金屋二丁目13番26号
魚津市社会福祉協議会 総務課
TEL 22-8388 FAX 22-8390
Email soumu@uoshakyo.net

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。